

県立がんセンター新潟病院医誌投稿規定および手引き

I < 投稿者の資格 >

本誌に投稿するものは当院職員，当院と関係の深い者，および編集委員会にて依頼または承認された者とする。

II < 原稿の種類 >

原稿は総説，原著，臨床経験，研究，症例，資料・統計，その他とし，他誌に未発表のものとする。内容は腫瘍およびその関連のあるもので，当院職員の研究，教育に寄与するものが望まれる。

III < 原稿の申込 >

- 1 原稿は別に定める申込票とともに提出する。(提出原稿にも，標題，著者名所属を明記のこと。)
- 2 所属の書き方：当院の「病院概要」中の「病院の機構」に使用されている名称を使用する。
- 3 提出の際は，コピー1部を添付する。
- 4 提出の際，原稿とフロッピーディスクの両方を提出する。
入力媒体は，2HD. 1.44MBの3.5インチフロッピーディスクで，MS-DOSフォーマットしたもの。
入力書式は，1校全角20字×20行で，保存形式は，テキストファイル(XXXXXXXX.TXT)とする。

IV < 原稿の様式 >

- 1 標題のページ
標題，著者名，所属，索引用語(Keyword—分かりやすいもの5～6個以内)
- 2 本文
 - A) 論文の形式：要旨(400字以内で，必ず付けること)—はじめに—対象と方法(または症例)—結果(または成績)—考案—おわりに—文献とする。但し，総説，資料・統計の体裁は自由とする。また，項目符号を使用する場合は，。I…1…1)…などを使用する。
 - B) 原稿枚数は下記を原則とする。

	本文(文献を含む)	図・表
総説	20枚以内	10枚以内
原著	30枚以内	15枚以内
症例報告	15枚以内	7枚以内
その他	20枚以内	10枚以内

研究会等の抄録は，その都度抄録募集時に編集委員会が規定する。

原稿用紙は1枚20×20字のA4判用紙を使用する。

ワープロの際も，1枚20×20字とする。

- C) 学術用語は日本医学会又は各関連学会の用語集による。
 - D) 外国人名，地名，化学用語は，原則として原語を用い，一般化したものはカタカナで書く。
 - E) 薬剤名は一般名を用い，商品名はなるべく用いない。
 - F) 論文中しばしば繰り返す言葉は略語を用いてもよいが，初出のときは省略してはならない。
 - G) 数字は算用数字を用い，単位はCGS単位を原則とする。
記号はm, cm, mm, u, mu, g, mg, l, ml, °C, pH, N, M, Ci, mCi, uCiなどを使用する。
省略点は打たない。
- 3 図・表・写真はその説明をつけず，本文中に挿入希望箇所を明記する。
写真は全てプリント(手札販以上)とし，天地を記載する。原則として，カラーは受け付けない。
図は，原則として原稿のまま印刷されるため，太字で黒インキを使用する。
 - 4 標題，索引用語(keyword)，図・表の表題はなるべく日本語が望ましい。

5 文献

引用文献は論文に直接関係するものとし、引用箇所の右肩に番号をつける。文献欄には、引用順に次のように列記する。

A) 雑誌

引用番号) 著者名：標題．雑誌名（略名）．
 卷（号）：最初ページー最終ページ（通しページ）．年．
 （例）1）加藤清，赤井貞彦：胆道癌危険因子．
 新潟がんセンター病医誌．25(2)：80ー83．1986．
 2）Fortman CS，Witte DL：Serum5' -nucleotidase inpatients receiving
 anti-epileptic drugs．Am J Clin Pathol．84(2)：197ー201．1985．

* 著者名については、多数の場合は3名までの記載とする。

* 国内誌は、医学中央雑誌収載誌略名を、国外誌は、PubMed Journal Data baseのTitle Abbreviationに準拠。

B) 単行本

引用番号) 著者名：書名．初版以外の場合はその版．引用ページ．発行所．出版年．
 （例）3）佐々木壽英，赤井貞彦：新潟県の胃癌．p76．新潟県立がんセンター新潟
 病院．1986．

C) 編者と著者が異なる単行本

引用番号) 著者名：標題：書名．初版以外の場合はその版．編者．引用ページ．発行所．
 出版年．
 （例）4）小越和栄：胃潰瘍の再発率：消化性潰瘍の新しい展開．北島政樹ら編．
 p333ー345．蟹書房．1986．

D) 電子文献

引用番号) 著者名：標題．[引用日]．URL
 （例）5）県立がんセンター新潟病院：放射線治療．[引用2001-7-1]．
<http://www.niigata-cc.jp/>

V <原稿の採否および審査>

- 1 投稿論文の採否は編集委員会が行う。
- 2 編集委員会は、投稿原稿について加除、訂正を求めることがある。

VI <校正>

- 1 校正は3校までとし、著者は再校までを行う。
- 2 校正は誤植に限る。内容の加筆補正は避ける。

VII <別刷>

- 1 掲載論文（抄録類は除く）の別刷は30部まで無料。これを越えた分については、実費有料となる。
- 2 掲載済原稿は著者に返す。

VIII <刊行回数と募集時期>

- 1 刊行回数：年に2回とする。
- 2 発行時期：3月，9月とする。（原稿募集締め切り：6月末，12月末）

IX <ホームページ全文掲載>

本誌は当院ホームページに全文掲載される。<http://www.niigata-cc.jp/Tosho/Ishi/>

IX <その他>

- 1 本誌の刊行および関連事項について、必要あれば編集委員会で協議して決定する。
- 2 本誌に掲載された論文記事の著作権は県立がんセンター新潟病院に帰属する。